

## 岩崎議員、落海議員が聴く 遊びを通して子どもたちの 生きる力を育む

表紙写真／話をお聞きした皆さん

子育てには様々な悩みがあります。発育の遅れ、友だちと遊ぶのが苦手、学校を休みがちなど。親だけで抱え込んでしまいがちな子どもへの心配事は、子どもの居場所作りをしている専門スタッフにおまかせ！「アナログゲーム × 運動遊び」で子どもの強みを発見する、あそびで育つ【にじもこ】の蔵田さんと山下さんに活動内容を伺いました。

### プロフィール



あそびで育つ【にじもこ】  
発育発達トレーナー 蔵田 美恵さん



あそびで育つ【にじもこ】  
保育士 山下 久美恵さん

# あそびで育つ【にじもこ】を設立 目標と目的で意気投合！

Q これまでのにじもこの活動  
について教えてください。

山下 今年3月にイベントを開始し、4月から本格スタートしました。毎週木曜日の午前中に、御園宇で活動しています。年中さんから高校生までのお子さんをお預かりし、「アナログゲーム

×運動遊び」を子どもが主体となって行い、好きな遊びを通して自分の「得意・強み」を発見できる、子どものための平日の居場所です。

蔵田 どんな遊びを選んだか、また、よく使っている体の部位や使い方を観察し、うまく使え

ていない部分へ意識が向くようにアプローチをする。できない、やらない、苦手な理由を、体の使い方から探していく。ただその部分を使えるように訓練させるのではなく、自分が本来やりたいこと、楽しいと思えることを一番に考えた上でアプローチ

ていない部分へ意識が向くようにアプローチをする。できない、やらない、苦手な理由を、体の使い方から探していく。ただその部分を使えるように訓練させるのではなく、自分が本来やりたいこと、楽しいと思えることを一番に考えた上でアプローチ

しています。

Q 活動に対する思い(目標)  
について教えてください。

山下 遊びを通して楽しみながら自分の得意なことを見つけてほしいです。好きなこと、得意なことを知ること自信が持て、それがコミュニケーションに繋がると感じています。にじもこで過ごす時間は、自分を思い切り表現できる場になり、充実感や達成感、爽快感を感じてくれると嬉しいです。

蔵田 不得意な部分に注目する



- ① 取材風景
- ② アナログゲーム「レシピ」
- ③ 運動あそび  
「カラダを立て直す力を育む」
- ④ アナログゲーム「スティッキー」
- ⑤ アナログゲーム「インパクト」
- ⑥ 運動あそび「足の動き」
- ⑦ アナログゲーム「スティッキー」
- ⑧ 運動あそび「バランスを取る」

だけでなく、得意なことを生かし合えるように、それでいいんだよと思える心に育ってくれたらいいと思っています。やっぱり体と心って大事なんだ、ということを発信したい。関わる大人の中にもこの考え方が浸透し、活動が広がればいいと思います。昔と今では環境も違うので、私たちもソフトチェンジが必要です。今、保育現場では、『自主的に学びを取りに行くところ』がすごく大事』というところが求められていると思います。それを子どもから教わっているなど感じています。学ぶというのも、私たち親世代にも必要なのかと思います。

**Q 活動の中の社会課題について教えてください。**

**山下** 子どもが何を感ず、考え、どう行動しようとしているのかを、見守りながら思いを聞いた対話することが大事だと思います。大人が思う「当たり前」は、子どもにとって「なぜ、どうして？」と疑問に感じることも多くあります。多様な子どもたちの個性を受け入れ、子どもをみんなで育てていくという温かな社会でありたい、と考えています。

**蔵田** 全国的に不登校や発達障害（特に※ADHD・学習障害）のお子さんが増えています。そこに関しては、幼少期の環境の変化により体を動かす機会が減ったことが大きく関係していると思います。

**Q 行政に知っておいてほしいことはありますか？**

**山下** 参加費をいただかないと来てもらえないという状況です。私達の活動を本当に必要な子にちゃんと届けたい。また、教育委員会や学校と連携できる環境づくりを市に担ってほしいと思います。

**蔵田** 市からの協力が得られないところとも連携が取れない、と救われる人もいます。だから寄り合えたらいいのではないかと、私達のやっている活動の本当の狙い、そこがつぶれないよう柔軟な対応をしていただきたいと思います。